

1. **研究の目的** 本研究グループは、土木分野において、どのような情報ネットワークが形成されるべきか、どのような形態で情報ネットワークが開設され、維持されていくべきかについて、広く、大学・官公庁・企業から委員を集めて協議し、その基本的な方向性を明らかにすることを目的としています。

2. 調査研究事項

2.1 **どのような情報ネットワークが形成されるべきかに関する研究** 大学や官公庁、企業の研究・技術情報が、相互に公開され交換されて高めあう形がとられなければ、世界の技術の進展についていけないのではないのでしょうか。官公庁でも建設投資を合理化し、建設情報の高度な利用を促進し、入札制度を情報化していこうとしています。

情報化が必要です。大学は、もっと、科学技術を公開し、積極的に社会に提供していくように努力しなければいけません。企業は、そうした情報を積極的に吸収し、自らの技術を発展させなければいけません。官公庁は、建設情報、防災情報、地球科学的なデータを積極的に収集・公開する仕組みを作っていかなければなりません。

これらの要求に応えるために、どのような情報ネットワークが形成されるべきかについて検討しています。

2.2 **どのような形態で情報ネットワークが開設され、維持されるべきかに関する研究** 情報化が必要なことは明らかです。今は、より具体的に、どのような情報ネットワークが必要であるかを明らかにし、その初期段階の道筋を歩き出す必要があります。情報ネットワークをどのように開設し、維持していくべきかの検討が必要です。そのため、横断的な組織形成について検討しています。

2.3 **どのような情報が提供されるべきかに関する研究** 大学について例をあげれば、大学の研究情報をどのようにしたら、広く公開され利用されやすいかを検討しています。たとえば、卒業論文、修士論文、博士論文の題目や要旨のデータベースを作成し、公開すること、技術計算プログラムなどを積極的に公開することを申し合せて、それらが

取得できるような WWW ページなどを作成しています。

3. **シビルネットホームページ** 本共同研究グループは、「シビルネットワークに関する研究委員会」と共同して、WWW ホームページを作成してきました。このホームページは、<http://www.civilnet.or.jp/indexj.html> でアクセスできます。このホームページでは、つぎのような情報を提供しています。(次ページに画面を例示。)

土木関連分野 yellowpage 国内の主要な土木関連の WWW ページをキーワード検索

特選リンク集 テーマ別に土木関係の WWW ページ

文献探索ページ 論文のタイトルなどを検索

パーソナルホームページ 個人情報のデータベース

土と木の博物館 京阪神の橋や市民向けページのリンク集

シビルネット掲示板 土木について自由に情報を交換

お知らせ 土木に関するイベント情報など

4. **情報ネットワークの運営形態** インターネットの急速な普及から、土木分野の情報ネットワークもインターネットに対応する形の方が望ましいと思われます。

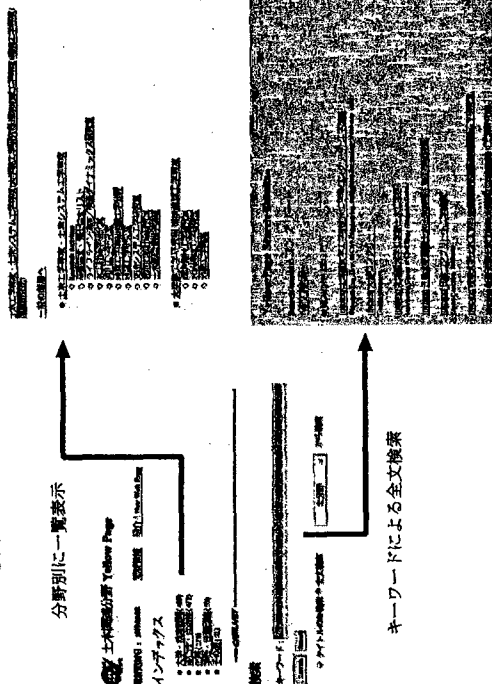
土木関連の企業や官公庁では、WWW ページを開設しているところも増えてきましたが、これらの中には、広報部門が担当して、必ずしも、土木分野で利用されているとはいえないところもあるようです。また、土木分野の情報ネットワークでは、土木分野の中での情報の提供・交換と、土木分野と他の分野・市民へ(と)の情報の提供・交換のふたつの形態を考えていく必要があります。

インターネット利用の現状と、情報提供のふたつの形態を考慮すると、土木分野の情報ネットワークは、特定の企業が運営するのではなくて、一定程度公的な、学会またはコンソーシアム(協議会)によって運営され、情報の提供・交換を促進するような活動を展開するのが妥当ではないかというのが、現段階の結論となりつつあります。

最後になりましたが、本研究Gの中心メンバーとして活動されていた眞嶋光保委員が本年3月に急逝されました。御冥福をお祈りします。

ハイクラス検

ホームページの検索



個人データベースの検索

